



TOHO *Green* VISION BOOK

2023年9月 JERA x 東宝
ワークショップ報告書

はじめに——

JERA主催「東宝グリーン変革ビジョン2030 ワークショップ」ご紹介

本コンテンツは2023年9月7日にJERA×東宝で開催した「東宝グリーン変革ビジョン2030ワークショップ」を経てまとめた社内啓発用の報告書「TOHO Green VISION BOOK」をWEB掲載用に改訂した内容となっております。

東宝の若手社員たちを中心に、将来、東宝スタジオの脱炭素化*1が実現できた場合に東宝グループでは何ができるのか？ 何をするのか？ 活発に議論し、自由な発想で思い描いた未来ビジョンをご紹介します。

なお、本コンテンツ内で使用する「Green／グリーン」というキーワードは、東宝スタジオにおける電力を、CO2を発生させる化石燃料から、JERAから供給される水素発電や太陽光発電、いわゆるグリーンエネルギーへの転換を行うこと、また映像制作における脱炭素化に向けた取り組み姿勢や、東宝グループが地球環境に配慮した活動を行うことをイメージした際の取り組み案などを象徴的に示すものです。

また、本コンテンツは、あくまでも2023年9月7日に行われたJERA主催「東宝グリーン変革ビジョン2030ワークショップ」の様態をお伝えする内容であり、東宝グループが本ビジョンの実現・達成を保証またはお約束するものではありません。

*1: 脱炭素化とは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を抑止するため、化石燃料を使用しないことでCO2排出量の実質ゼロを目指す取り組みのことです。





TOHO Green VISION Bookができるまで...

ゴジラを24/7カーボンフリー電力*2で 撮影できる未来に向けて

映像制作の脱炭素化を目指し、エネルギー分野とエンタテインメント分野という異業種での協業がスタートしました。

その第一歩として、2030年の東宝スタジオで使用する電力の脱炭素化に向け、映画を中心としたエンタテインメント業界を代表する東宝と、エネルギーの脱炭素化分野で革新的な取り組みをするJERAが、2023年に本格的な取り組みを開始しました。

同年9月、東宝の各部門から集まった若手社員やTOHOスタジオ(株)社長など、幅広い世代で構成された有志メンバーとJERAは「東宝グリーン変革ビジョン2030ワークショップ」を合同で開催。2時間という限られた時間の中、両社の有志メンバーは最新トレンドや海外の先進事例をもとに、2030年の環境に配慮した映画業界のビジョンを共同で策定しました。

長きにわたり、時代が変遷する中で「健全な娯楽」を提供し続けてきた東宝は、現在および将来にわたる気候変動の影響を真摯に受け止めています。ワークショップの参加メンバーは熱い議論を重ね、東宝グループのコーポレート・スローガンである「Entertainment for YOU」にちなみ、「Green Entertainment for YOU」という新しいビジョンを掲げました。このテーマには、ワークショップ参加メンバーの深い想いが込められており、このビジョンブックにはその詳細な取り組みやアイデアを記述しています。

また本ビジョンブックは、ただの報告書ではありません。社会やエンタテインメント業界の脱炭素化に心を寄せる世界中のすべての企業、団体、お客さま、そして東宝グループのすべての従業員に向けたメッセージでもあります。私たちの考えに共鳴して、共に未来をより良くしていく力になることを願っています。

*2: 「24/7(twenty-four seven)カーボンフリー電力」は、毎日24時間・毎週7日間、すなわち年間365日にわたってCO2を排出しない電力の名称となります。東宝スタジオに導入する24/7カーボンフリー電力では、太陽光発電などからの再生可能エネルギーと水素専焼のゼロエミッション火力発電によるクリーンエネルギー供給基盤に、電力需要量やCO2排出量をリアルタイムで可視化し、将来のシミュレーションを行うことができる最新のデジタル技術を組み合わせることで脱炭素化を目指していきます。

2023年東宝グリーン変革ビジョンチーム

TOHOスタジオ株式会社 代表取締役社長 島田 充

コーポレート本部 総務部 サステナビリティ推進室 室長 石原達也

コーポレート本部 総務部 サステナビリティ推進室 橋本慶太郎

不動産本部 不動産経営部 企画室 牧原直輝

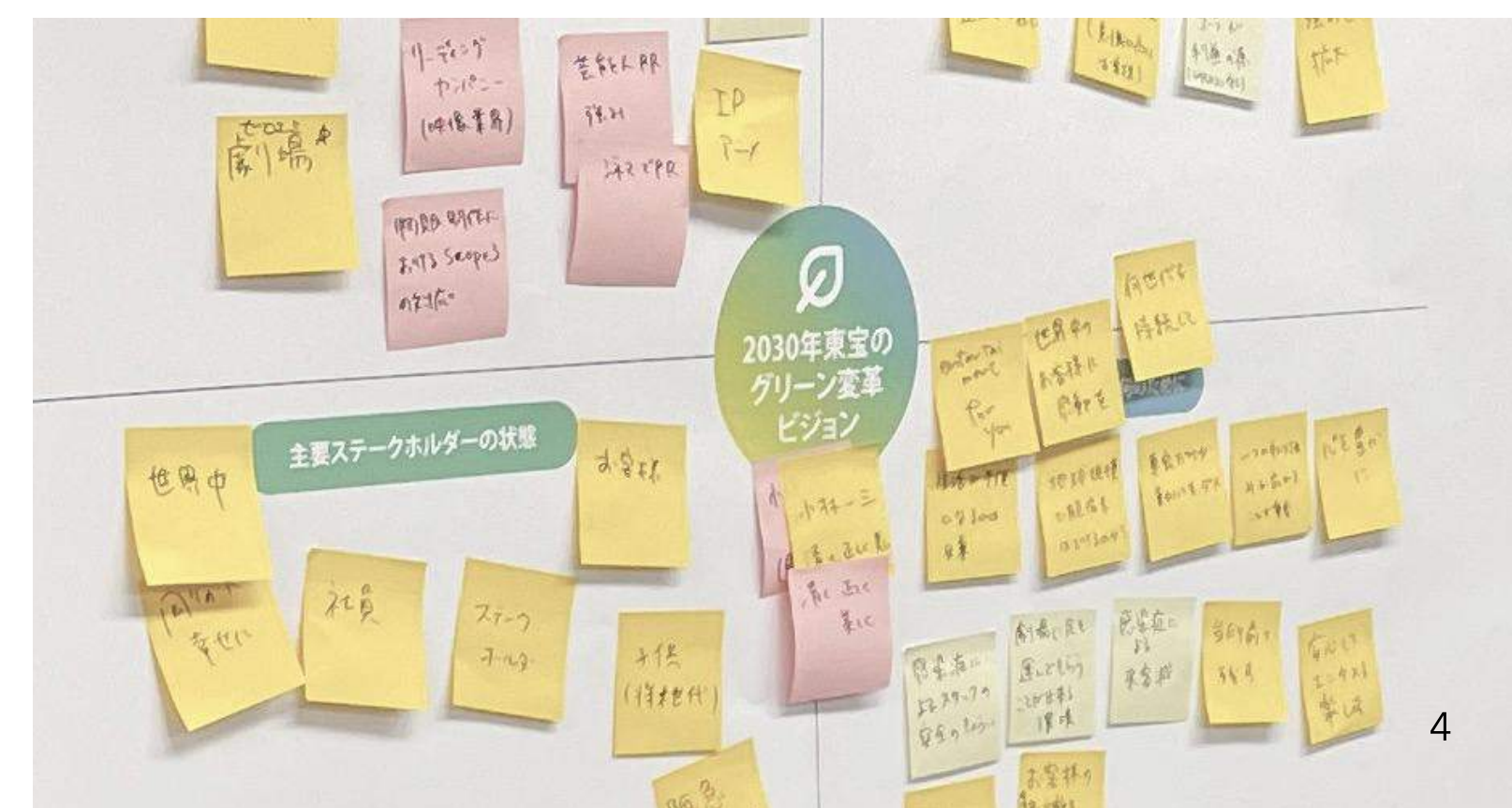
コーポレート本部 総務部 松本章也

エンタテインメントユニット 映画本部 映画企画部 足田華恋

コーポレート本部 総務部 広報・IR室 丸山結希奈

コーポレート本部 総務部 広報・IR室 川島優太

*所属・役職は2023年9月当時のものです。



Q.1

東宝が映画業界の脱炭素化に成功を収めた未来を想像してみてください。どんな未来を想像しますか？

“

スタジオをあずかる身として、東宝スタジオという事業所での脱炭素化を主導していきたい

“

2022年に発足したサステナビリティ推進室に最初に所属したメンバーとして、今後削減計画も含めた走り出しの役割を果たす。そして、日本の映像業界における脱炭素化のスタートに関わった人間であったと想像する

“

環境問題に対して意識の高いお客様が、映画業界の脱炭素化に取り組んでいる東宝だからという理由で、東宝作品を選んでくれる未来

“

環境への負担を考慮して、無理に生活様式を変えるというよりも、生活は何も変わらず脱炭素化だけが進んだ未来が理想

Q.2

今から5年後、東宝が描くグリーン変革の未来を切り開くことに関わったことで、どんな気持ちになりますか？

“

日本の映像業界が環境への取組みをリードしていることに誇りを感じる状態になりたい

“

5年後の日本の環境意識にもよるが、グリーン変革が今後必要不可欠であることは承知しているが、「やって良かった」「携われて良かった」と素直に思えるのは、もっと先である気がする

“

当社のグリーン変革の先駆けとして行動できたことに満足するだろう

“

特にアメリカや欧州の企業は環境問題やグリーン変革への意識も行動も数歩先をいっている印象が強い
5年-10年後に、どの程度本業で、それらの企業と競い合っているか分からないが、とある一面ではその差が縮まったという実感を持っていたい



グリーン変革vision

Green

Entertainment for YOU

東宝グループのコーポレート・スローガンは Entertainment for YOU—世界中のお客様に 感動を— ですが、私たちワークショップ参加者は、東宝グループがこれから本格的に脱炭素化に取り組んでいく未来を見据えた形で下記のようなスローガンも考えてみました。

Green Entertainment for YOU

世界中のお客様に心豊かな感動体験をお届けし続けていくため、地球環境を大切にしたい取り組みをリードしていきます。

グリーン変革vision

私たちは日本のエンタテインメント業界におけるグリーン変革の先駆けとして、「健全な娯楽を広く大衆に提供する」というパーパスに基づき、持続可能な社会の実現に向けて「朗らかに、清く正しく美しく」をモットーに、エンタテインメントを軸としたアプローチで、環境問題へと取り組んでいきます。

人々の心に深く響くエンタテインメントの力を信じ、環境を大切にする価値観を、業界を越えて社会全体に広めていきます。そして、東宝グループの長い歴史が築き上げた多彩なアセットを活かし、グリーン変革の啓発、実践に努めます。

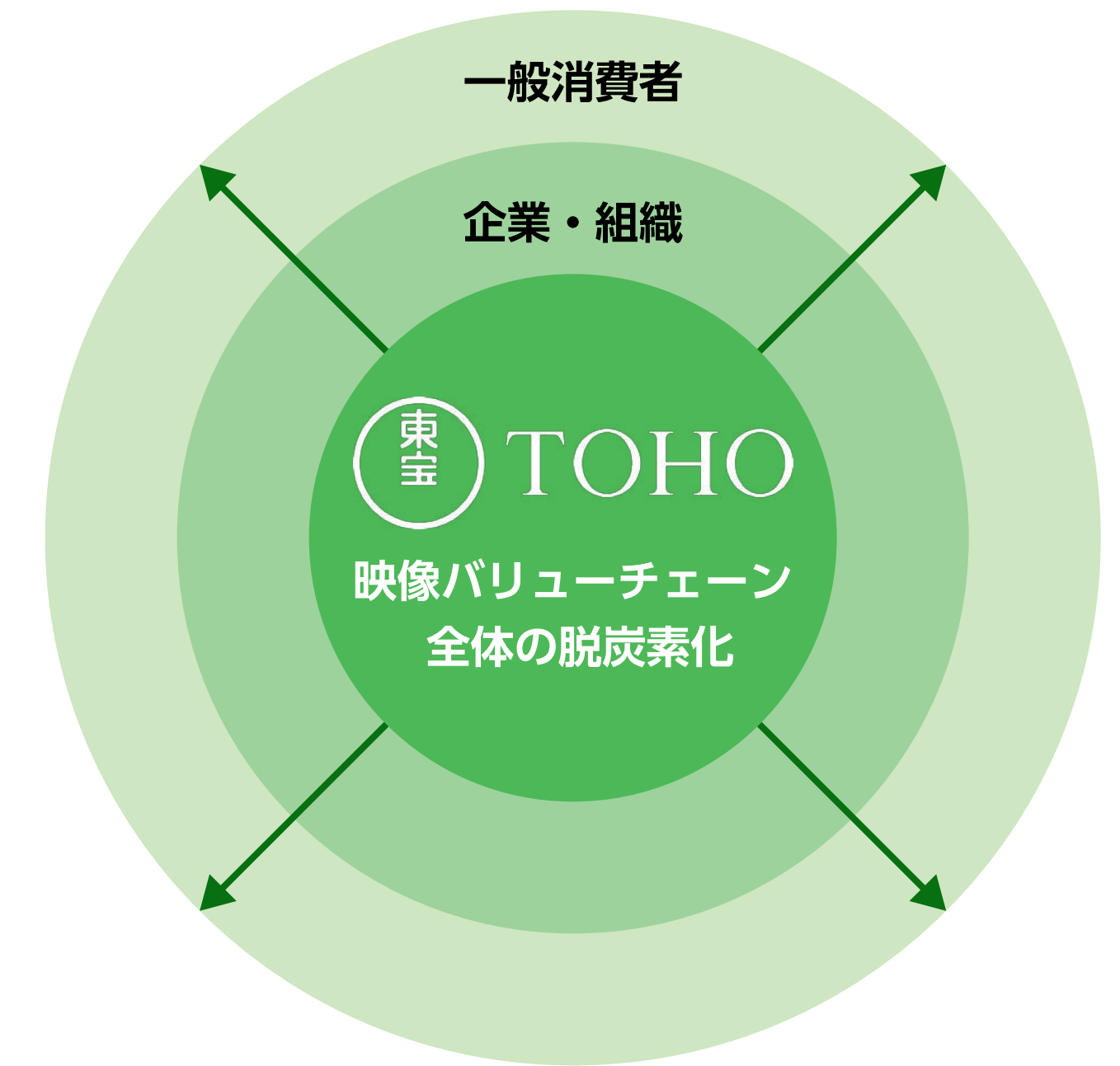




グリーン変革mission

東宝グループは、バリューチェーン全体のグリーン変革を推進するとともに、企業やお客様をはじめとするすべてのステークホルダーとともに、環境を大切にすることを意識の啓発と行動変革の促進に貢献していきます。

東宝グループのエンタテインメントの力を活用し、すべてのステークホルダーに向けて、環境を大切にすることを意識啓発と行動変革を促進





東宝が考える2030年の グリーン映画業界のあるべき姿

2023年9月、JERA主催の「東宝グリーン変革ビジョン2030ワークショップ」において、2時間という限られた時間の中ではありませんでしたが、東宝の若手社員を中心にワークショップ内で掲げた「グリーン変革vision」と「グリーン変革mission」に則り、エンタテインメント業界の未来について活発に議論しました。

これからご紹介するのは、地球環境保全への世の中の意識や行動変革を促進していくために、エンタテインメント業界が出来ることについてのアイデアとなります。

1 原作選定・企画

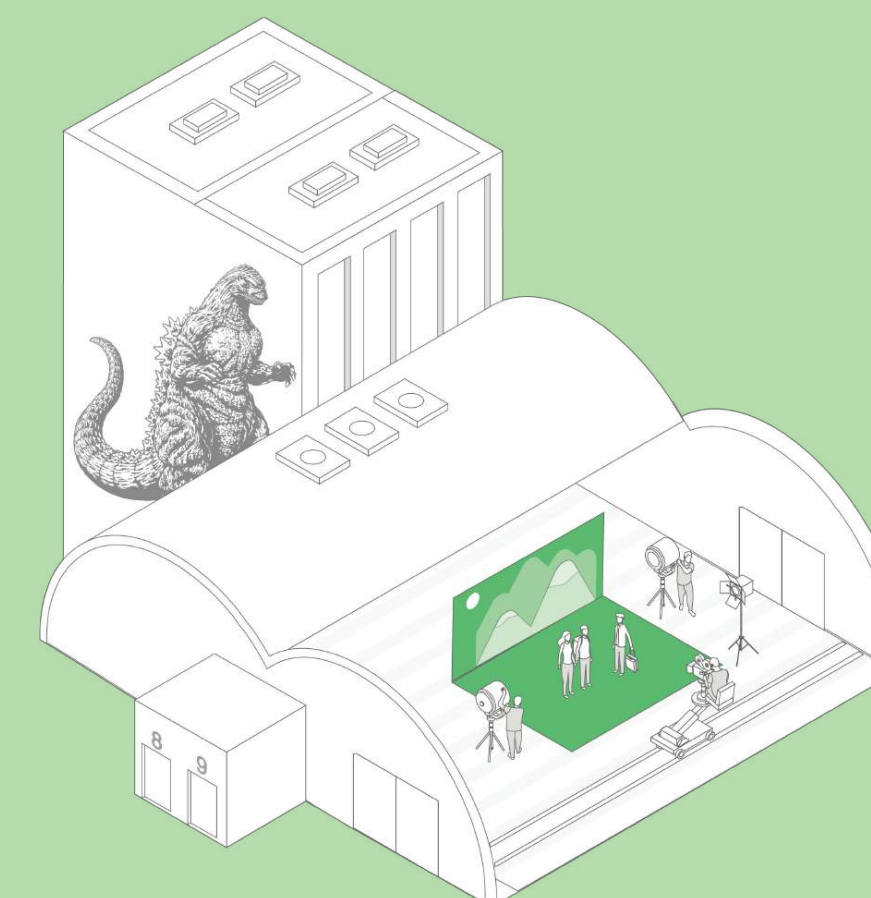
環境問題をテーマにした魅力的な作品を採用



厳選された魅力的な原作を基に、科学的な正確性やメッセージの内容について専門家のアドバイスを求めて精査。これにより、広範な消費者に環境問題という社会的課題を提起し、その意識の向上を促進することを目的とする

2 制作

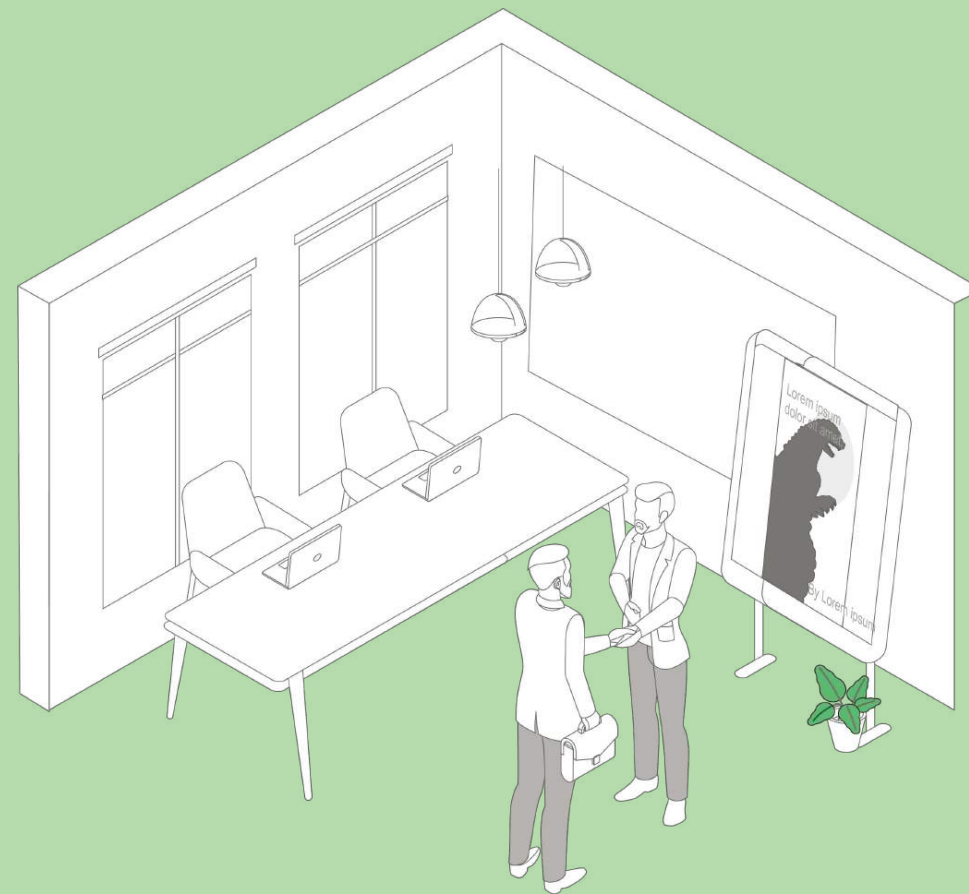
環境負担を最小限に抑えた映像制作の実現



24/7カーボンフリー電力の採用、バーチャルプロダクション、節電施策、セットの再利用、EV活用などを併せて、低炭素製作を推進。これを基盤として、カーボンフリースタジオの付加価値を高め、収益向上を図る

3 配給

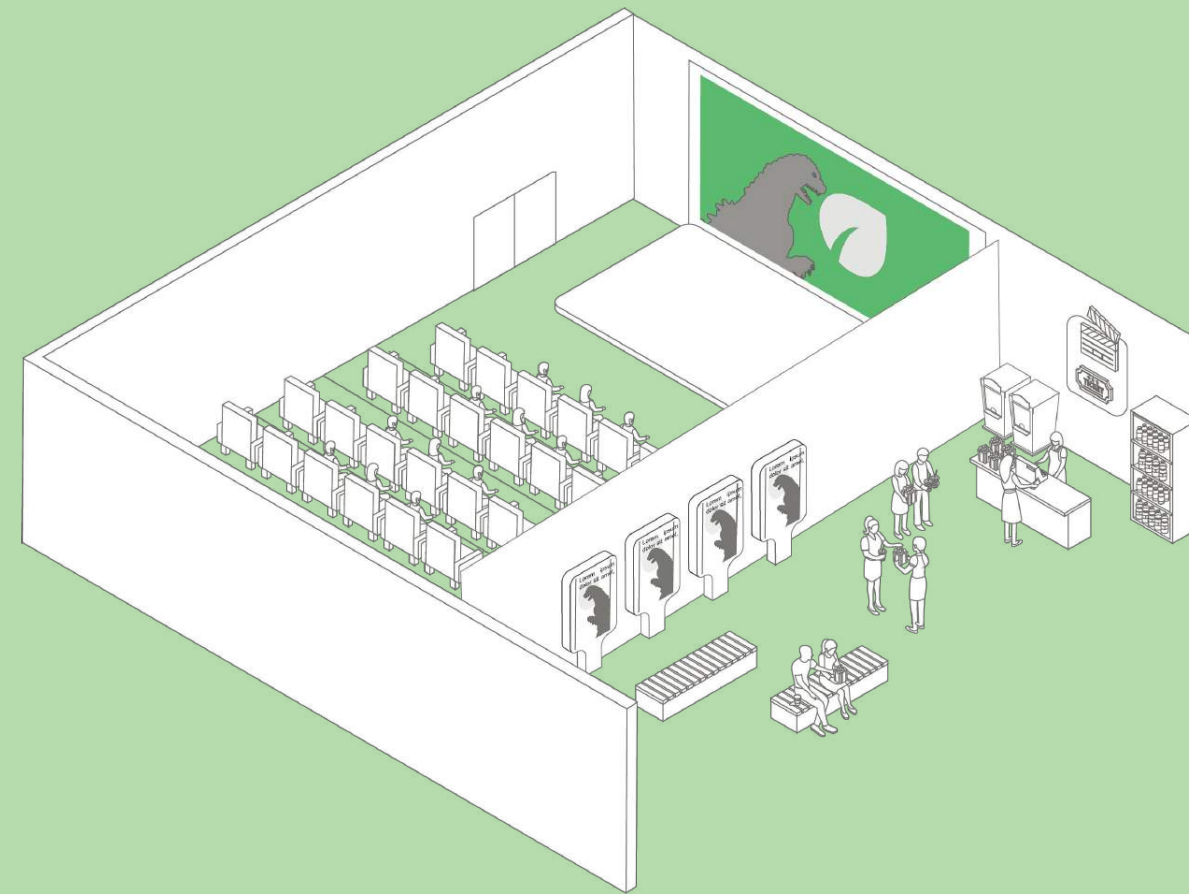
環境負荷を考慮した配給で、CO2排出の削減を実践



環境に配慮した映像保存技術の開発や、輸送手段の効率化による環境負荷の軽減、環境意識が高い企業との協働を進め、業界全体でのグリーン変革を促進する

4 興行

映画鑑賞時のCO2排出を削減し、環境に配慮したエンタテインメントの提供



映画館では24/7カーボンフリー電力を採用し、マイボトル対応のドリンクやリサイクル素材のグッズを取り扱うことで、環境への負担を低減。これにより環境意識の高い消費者を引き寄せ、購入単価の向上と収益の増大を目指す

5 PR/マーケティング

グリーンマーケティングキャンペーンを通じたブランド価値の向上



自社のIPを最大限に活用した集客、日比谷エリアでのイベント開催、さらには環境への取り組みが評価される他企業との共同キャンペーンを通じて、東宝のグリーンブランドとしての側面を世の中に浸透させる

1

原作選定・企画

2030年には…
環境問題をテーマにした魅力的な作品を採用



グリーン変革のための施策アイデア



環境問題を取り上げた原作選定

一般消費者が環境問題への認識を深め、環境負荷を軽減するための意識変化や行動変容を促すテーマを選定する



環境をテーマとした子供映画制作

著名な監督たちの監修のもと、次世代の子どもたちが東宝スタジオの24/7カーボンフリー電力を使用した映画制作を行う



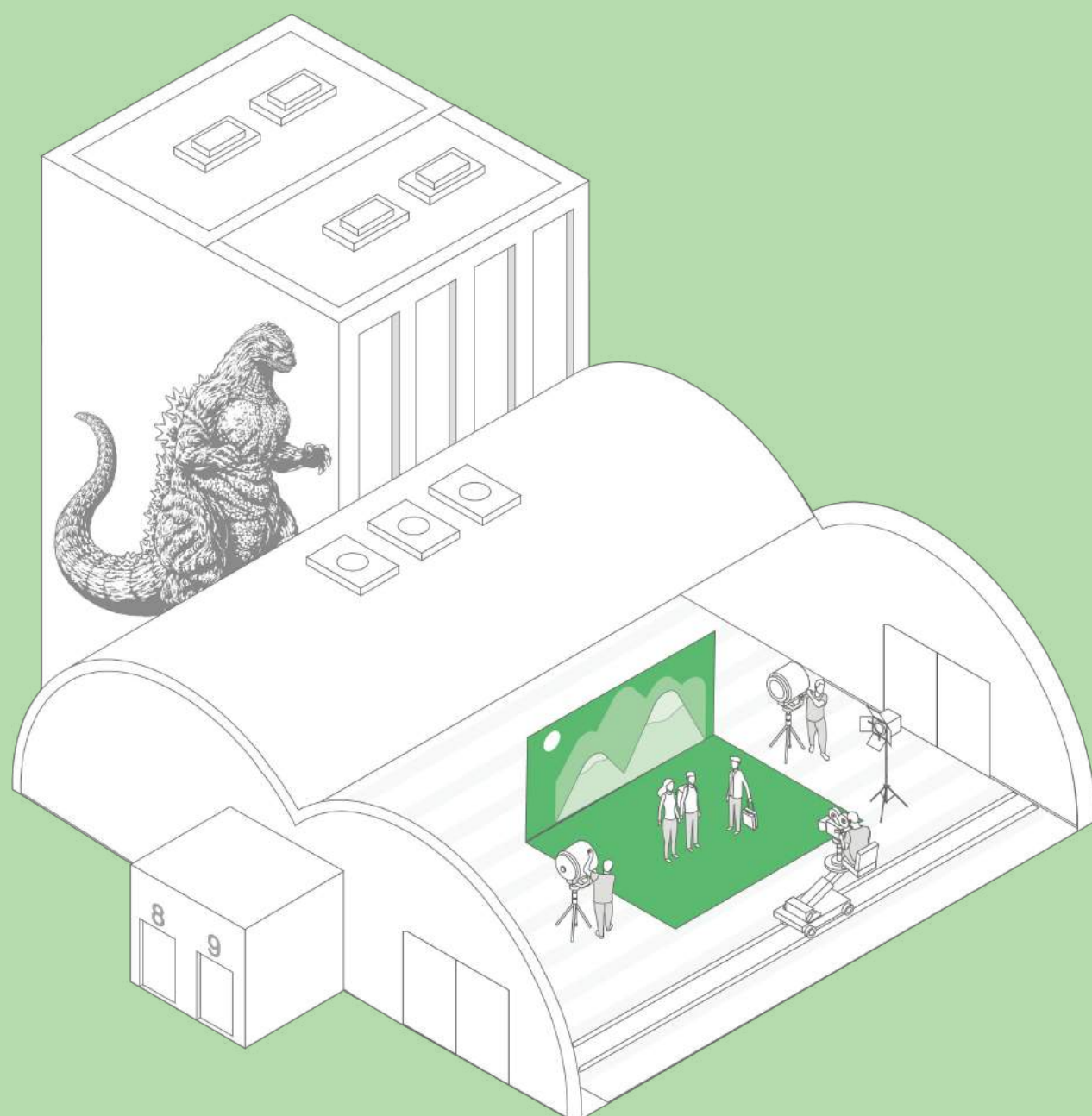
グリーン・プロダクトプレースメント

環境意識の高いブランドや商品を映画などの映像コンテンツの中に積極的に取り入れる

2

制作

2030年には…
環境負荷を最小限に抑えた映像制作を実現



TM & © TOHO CO., LTD.

グリーン変革のための施策アイデア



脱炭素化した制作環境下での 映像・動画制作

海外大手配信プラットフォームをはじめとした環境意識の高いBtoBの顧客向けに、プレミアム価格でカーボンフリーの状態映像コンテンツ制作が可能な環境“カーボンフリースタジオ”を設立する



カーボンフリー映画・アニメ制作

“カーボンフリースタジオ”で、制作過程において24/7カーボンフリー電力を使用し、長編映画やアニメーション作品を共同制作する



バーチャルプロダクション

バーチャルプロダクション技術を活用し、外景実写やセットの代わりにリアルタイムCGを使用して撮影することで、移動やセット制作の環境負荷を削減する

3

配給

2030年には…
環境負荷を考慮した配給で、CO2排出量削減



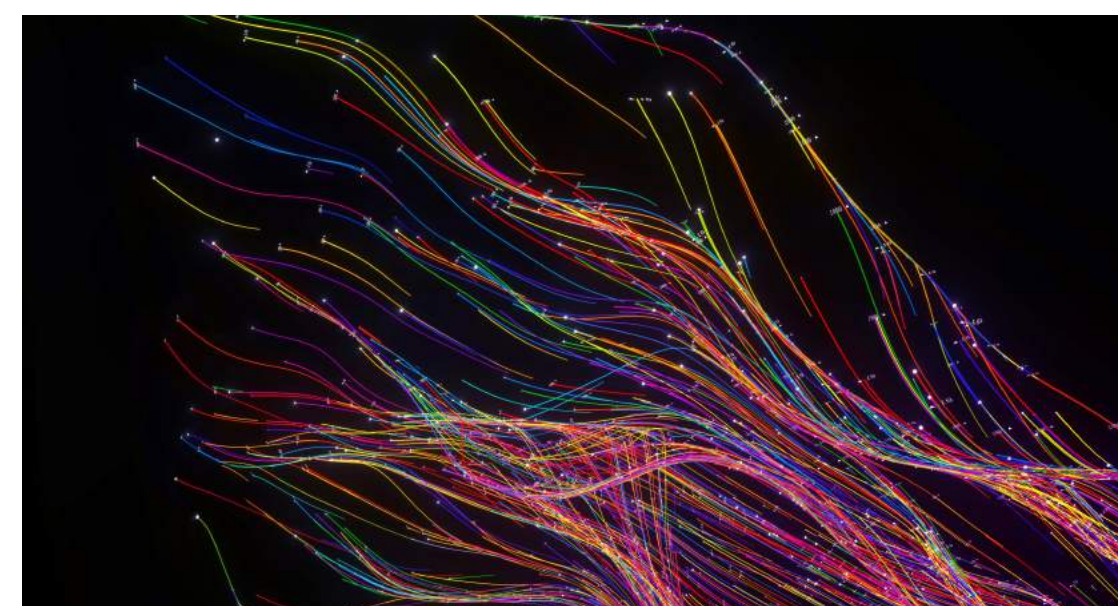
TM & © TOHO CO., LTD.

グリーン変革のための施策アイデア



環境意識の高い企業との取引強化

持続可能性を重視したパートナーシップ戦略を策定し、パートナーに対して優遇策を提供もしくはコラボ企画をすることで、映画業界全体のグリーン変革を促進する



完全デジタル配給

DCPなどの物理的な映像保存媒体ではなく、本篇をデジタル通信で上映劇場に配信できるシステムのさらなる活用や、その他映画配給に関わる輸送手段の効率化によりCO2排出量の削減や、環境負荷を軽減する



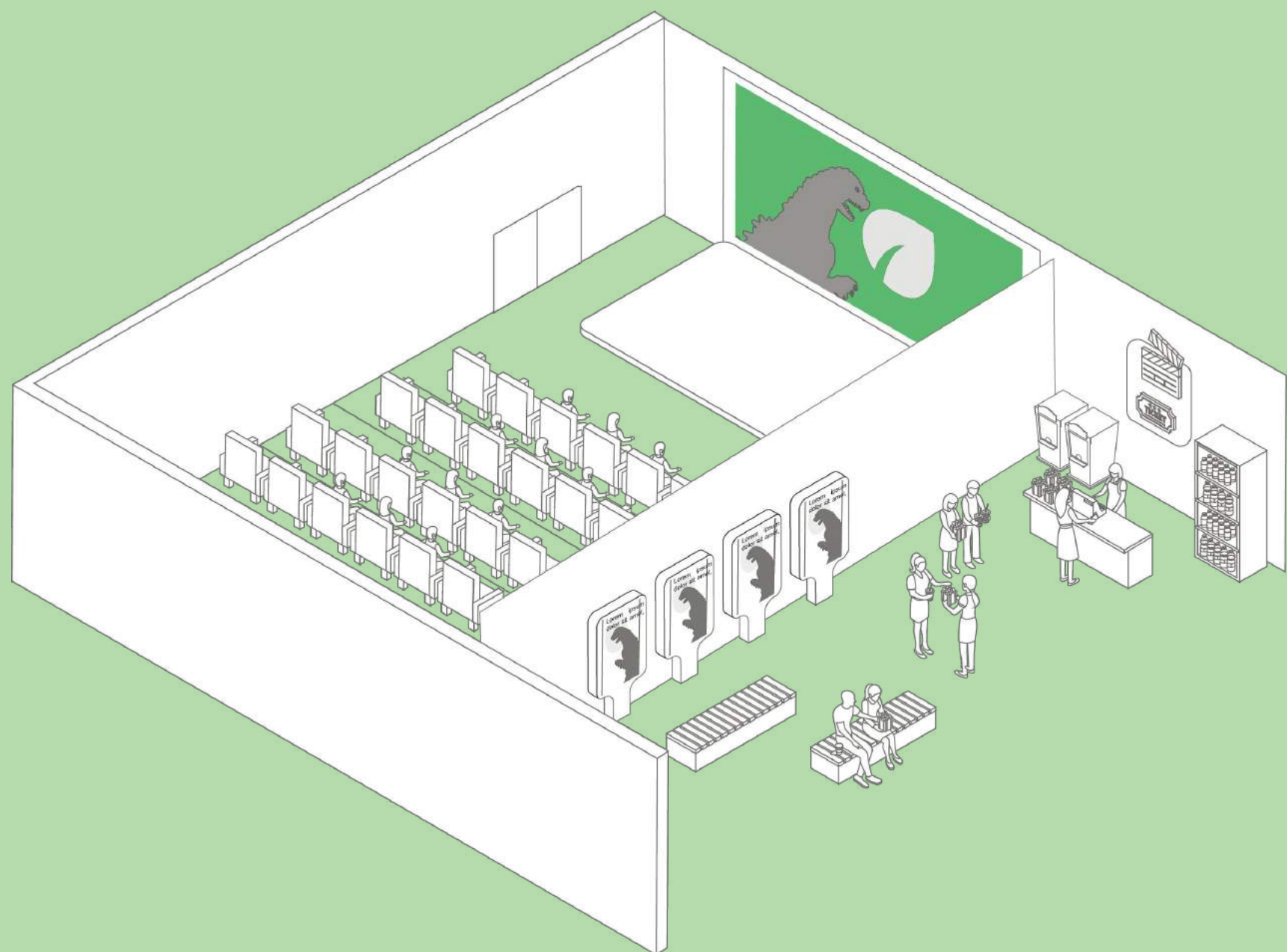
グリーン優先配信

東宝自社の映画を配信する際に、環境意識の高い配信サービスに優先配信権を与える

4

興行

2030年には…
映画鑑賞時のCO2排出量を削減し、
環境に配慮したエンタテインメントを提供



TM & © TOHO CO.,LTD.

グリーン変革のための施策アイデア



カーボンフリー映画館

TOHOシネマズ 六本木ヒルズやTOHOシネマズ 日比谷などフラッグシップシアターでグリーンチケットやマイボトルでのドリンク販売など環境意識をテーマとした映画館作りを行う



グリーンポイント

“カーボンフリー映画”のチケットを購入するとポイントが貯まり、東宝のスタジオツアーなどの特典がある



上映前のグリーンな広告

上映前に東宝のグリーンな取り組みを紹介、東宝のグリーンな活動を知らないエンドユーザーに向けて発信する

5

PR/マーケティング

2030年には…
グリーンマーケティングキャンペーンを通じた
ブランド価値の向上



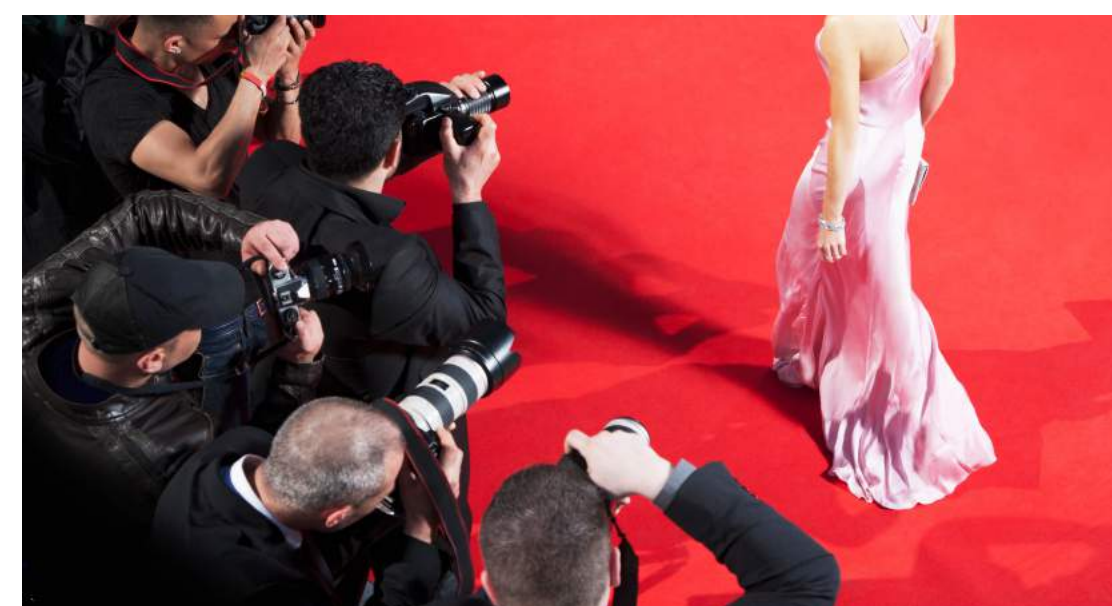
TM&© TOHO CO.,LTD.

グリーン変革のための施策アイデア



IPタイアップ (グッズ・映像)

東宝独自のIPであるゴジラや、所属俳優やアニメーションなどを活用し、顧客のサステナビリティに対する興味関心を向上させるキャンペーン実施や製品開発を行う



カーボンフリー映画祭

東宝の本拠地である日比谷で、環境の持続可能性をテーマとした映画祭を開催し、環境意識が高いブランドとコラボレーションする



東宝グリーン特設ページ

東宝のグリーン変革ビジョンや具体的な施策を伝える特設ページを企画・作成し、一般消費者に「グリーンな映画なら東宝」というイメージを定着させる



グリーンな東宝が、 今ここから始まる

以上ご紹介してきましたように、2023年9月に開催された「東宝グリーン変革ビジョン2030ワークショップ」では、東宝グループの未来を担う若手社員を中心に様々なアイデアが提案されました。

中には現段階では実現が難しいアイデアもありますが、東宝スタジオへのあらたなエネルギー導入をきっかけに、一つでも多くの取り組みが実現できるよう、東宝グループでは更なる脱炭素化を推進してまいります。

今後も、東宝グループは、サステナビリティ基本方針に則って、地球環境に配慮した事業活動を継続してまいります。

